

宇和島市
平成 28 年度 実施状況報告書

平成 30 年 3 月

宇 和 島 市

目 次

第1章 計画の概要.....	1
第1節 調査の目的.....	1
第2節 実行計画の基本的事項.....	2
第2章 温室効果ガス排出状況.....	5
第1節 温室効果ガス総排出量.....	5
第2節 ガス種別排出源別活動量及び温室効果ガス排出量.....	7
第3節 施設別温室効果ガス排出状況.....	9
第4節 排出源別温室効果ガス排出状況.....	10
第5節 行政事務・事業より排出された全体の総排出量.....	25
第6節 施設別排出量増減状況.....	27
第7節 間接的項目に関わる活動量（参考）.....	31
第8節 温室効果ガス総排出量（実排出量）（参考）.....	32
第3章 計画の目標達成状況.....	33
第1節 目標達成状況.....	33
第2節 今後の方針.....	33

第1章 計画の概要

第1節 調査の目的

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下「温対法」という。）第21条の規定に基づき、市の行政事務・事業における温室効果ガスの排出削減を目的としている。

また、本調査は、平成27年度に本市が策定した「宇和島市第3次地球温暖化対策実行計画」（以下「実行計画」という。）に準じ、本市の行政事務・事業より排出された温室効果ガス量及び計画の目標達成状況把握のために実施するものである。

実施状況調査の目的

- 法令の遵守（「地球温暖化対策の推進に関する法律」及び「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」）
- 市の事務・事業における省エネルギーを主体とした地球温暖化対策の推進
- 市民・事業者への普及啓発を目的とした行政の率先行動
- エネルギー消費量削減による経費節減

地球温暖化対策の推進に関する法律（抜粋）

（平成十年十月九日法律第百十七号）

最終改正：平成二八年五月二七日法律第五〇号

（地方公共団体実行計画等）

第二十一条 都道府県及び市町村は、単独で又は共同して、地球温暖化対策計画に即して、当該都道府県及び市町村の**事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置に関する計画**（以下「地方公共団体実行計画」という。）を策定するものとする。

2 地方公共団体実行計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

一 計画期間

二 地方公共団体実行計画の目標

三 実施しようとする措置の内容

四 その他地方公共団体実行計画の実施に関し必要な事項

～中略～

8 都道府県及び市町村は、**地方公共団体実行計画を策定したときは、遅滞なく、単独で又は共同して、これを公表**しなければならない。

9 第五項から前項までの規定は、地方公共団体実行計画の変更について準用する。

10 都道府県及び市町村は、**単独で又は共同して、毎年一回、地方公共団体実行計画に基づく措置及び施策の実施の状況（温室効果ガス総排出量を含む。）を公表**しなければならない。

11 都道府県及び指定都市等は、地方公共団体実行計画を達成するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長又は関係地方公共団体の長に対し、必要な資料の送付その他の協力を求め、又は温室効果ガスの排出の抑制等に関し意見を述べることができる。

12 前各項に定めるもののほか、地方公共団体実行計画について必要な事項は、環境省令で定める。

エネルギーの使用の合理化等に関する法律（抜粋）
（昭和五十四年六月二十二日法律第四十九号）

最終改正：平成二七年九月九日法律第六五号

（特定事業者の指定）

第七条 経済産業大臣は、工場等を設置している者（第十九条第一項に規定する連鎖化事業者を除く。第三項において同じ。）のうち、その設置しているすべての工場等におけるエネルギーの年度（四月一日から翌年三月三十一日までをいう。以下同じ。）の使用量の合計量が政令で定める数値以上であるものをエネルギーの使用の合理化を特に推進する必要がある者として指定するものとする。

2 前項のエネルギーの年度の使用量は、政令で定めるところにより算定する。

3 工場等を設置している者は、その設置しているすべての工場等の前年度における前項の政令で定めるところにより算定したエネルギーの使用量の合計量が第一項の政令で定める数値以上であるときは、経済産業省令で定めるところにより、その設置しているすべての工場等の前年度におけるエネルギーの使用量その他エネルギーの使用の状況に関し、経済産業省令で定める事項を経済産業大臣に届け出なければならない。ただし、同項の規定により指定された者（以下「特定事業者」という。）については、この限りでない。

第2節 実行計画の基本的事項

1 調査期間

実行計画の基準年、実行計画期間及び本調査の対象期間を以下に示す。

調査期間

- 基準年 : 平成26年度（基準排出量を算定する年度）
- 実行計画期間：平成28年度～平成37年度（温室効果ガス削減のための取組期間）
- 調査対象期間：平成28年度

2 対象範囲

（1）調査対象とする事務・事業

調査対象とする事務・事業は、本市の直接管理施設及び指定管理施設とする。

対象範囲

- 宇和島市の直接管理施設・・・直接管理による事務・事業
- 宇和島市の指定管理施設・・・他者に委託して行う事務・事業

なお、本計画では対象範囲を、以下に示す目標設定施設と目標設定外施設に区分する。

● 目標設定施設

計画の調査対象範囲から目標設定外施設を除いた範囲とする。同施設に対しては温室効果ガス排出量の把握並びに排出削減への取組の実施に加え、実行計画の削減目標に対する達成状況を調査・管理する。

なお、基準年の目標設定施設における温室効果ガス排出量を、実行計画の基準排出量とする。

● 目標設定外施設

基準年以降に廃止、移管される予定のある施設については、削減目標に基づく管理は行わず、温室効果ガス排出量の把握並びに排出削減への取組のみ実施するものとする。

(2) 調査対象とする温室効果ガス

温対法により削減の対象に規定される7種類の温室効果ガスに対し、本市の行政事務・事業において排出される以下の4種類の温室効果ガスを調査対象とする。

調査対象ガス	二酸化炭素 (CO ₂) メタン (CH ₄) 一酸化二窒素 (N ₂ O) ハイドロフルオロカーボン類 (HFC)
--------	--

表 1 対象とする温室効果ガス及び排出源

ガス種		排出源
算定対象	二酸化炭素(CO ₂)	●化石燃料の燃焼 ●電気の使用 ●廃プラスチックの焼却 等
	メタン(CH ₄)	●化石燃料の燃焼 ●農業分野（稲作、家畜の消化管内発酵や排泄物処理等） 等
	一酸化二窒素(N ₂ O)	●化石燃料の燃焼 ●農業分野（農用地の土壌、家畜の排泄物処理等） 等
	ハイドロフルオロカーボン類(HFC)	●エアコン、冷蔵庫などの冷媒ガス ●発泡剤・断熱材
対象外	六ふっ化硫黄(SF ₆)	●電気絶縁ガス 等 ※宇和島市の行政事務・事業では排出が見込まれないため対象外とする
	パーフルオロカーボン類(PFC)	●半導体の製造 等 ※宇和島市の行政事務・事業では排出が見込まれないため対象外とする
	三ふっ化窒素(NF ₃)	●液晶パネル製造、半導体の製造 ※宇和島市の行政事務・事業では排出が見込まれないため対象外とする

(3) 調査する活動量

調査対象施設における活動量*を基に温室効果ガス排出量を算定する。

*活動量：温室効果ガス排出の原動力となる燃料及び電気使用量等の総称。

表 2 活動区分ごとの調査項目

活動区分		調査項目	単位
全施設	電気使用量	電気・燃料総使用量、及び以下の燃料使用量内訳 ・ 定置式機関における燃料使用量内訳 ・ 家庭用機器における燃料使用量内訳	kWh
	ガソリン		ℓ
	軽油		ℓ
	灯油		ℓ
	A 重油		ℓ
	液化石油ガス (LPG)		m ³
	都市ガス		m ³
	車両情報及び走行距離	車両毎の走行距離 (km)、及びエアコン冷媒に HFC を使用する車両台数 (台)	—
	浄化槽使用状況	浄化槽使用施設での施設常駐者数	人
	間接的項目	水道使用量 (m ³)、コピー用紙購入量 (枚)	—
特定施設	廃棄物焼却量	ごみ焼却場における一般廃棄物及び廃プラスチック焼却量	t
	麻酔剤 (笑気ガス)	病院・診療所等における麻酔剤使用量	kg
	下水・し尿処理量	各処理場における汚水処理量 (流入量)	m ³

3 基準排出量及び削減目標

実行計画では、基準年に目標設定施設より排出された温室効果ガスを基準排出量とし、基準排出量に対する削減率により削減目標を設定した。なお、実行計画の基準排出量及び削減目標は以下の通りである。

基準排出量（平成26年度） 及び削減目標	基準排出量（24, 558t-CO ₂ ）※ に対して10%削減
※ 基準排出量は、活動量推移の調査に基づくデータ修正の結果、精査した排出量に変更している。（計画策定当初：24, 556t-CO ₂ ）	

第2章 温室効果ガス排出状況

第1節 温室効果ガス総排出量

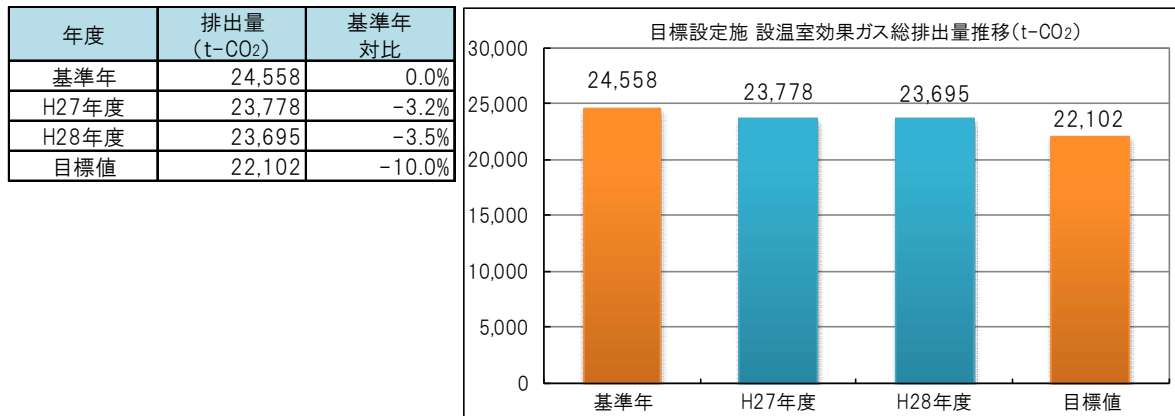
1 総排出量（目標設定施設）

平成28年度における目標設定施設（調査対象全施設より目標設定外施設を除いた施設）より排出された温室効果ガス排出量は、23,695t-CO₂であり、基準排出量（24,558t-CO₂）に対して863t-CO₂（3.5%）減少している。

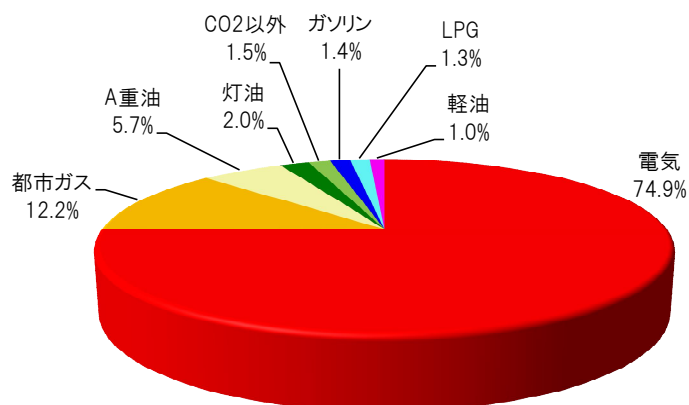
平成28年度温室効果ガス総排出量

23,695t-CO₂（基準年比3.5%減少）

表 3 温室効果ガス排出量の推移



排出構成では、電気使用に伴う排出が全体の74.9%を占め、以下、都市ガス（12.2%）、A重油（5.7%）、灯油（2.0%）、CO₂以外のガス（1.5%）、ガソリン（1.4%）、LPG（1.3%）、軽油（1.0%）と続いている。（図 1参照）



注）構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 1 目標設定施設全体の温室効果ガス排出構成

排出源別の基準年比増減状況を見ると、軽油、LPG、都市ガス、CO2以外のガスに伴う排出は増加したものの、それ以外の項目における排出は減少している。

表 4 排出源別温室効果ガス排出量推移

(t-CO₂)

項目		平成26年度 (基準年)	平成27年度		平成28年度		
		排出量	排出量	基準年 対比	排出量	前年度 対比	基準年 対比
燃料	ガソリン	349	332	-4.7%	323	-2.6%	-7.3%
	軽油	232	223	-3.9%	239	7.2%	3.0%
	灯油	571	487	-14.8%	473	-2.8%	-17.1%
	A重油	1,661	1,858	11.8%	1,342	-27.7%	-19.2%
	LPG	286	290	1.2%	315	8.7%	10.0%
	都市ガス	2,837	2,840	0.1%	2,899	2.1%	2.2%
電気		18,431	17,406	-5.6%	17,752	2.0%	-3.7%
CO ₂ 以外の温室効果ガス		191	343	79.5%	351	2.2%	83.5%
温室効果ガス全体		24,558	23,778	-3.2%	23,695	-0.3%	-3.5%

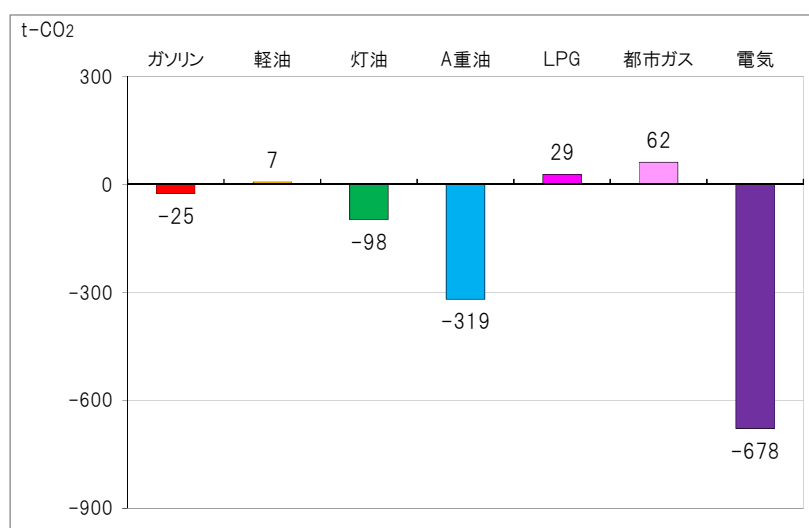


図 2 排出源別増減状況（基準年比）

第2節 ガス種別排出源別活動量及び温室効果ガス排出量

1 ガス種別排出源別活動量

平成28年度における調査対象施設のガス種別排出源別の活動量を表5に示す。

表5 ガス種別排出源別の活動量

項 目 (単位)			平成28年度 ガス種別・活動項目別活動量			
			CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC
燃料使用量	ガソリン	ℓ	139,359			
	軽油		92,486			
	灯油		190,087			
	A重油		495,320			
	LPG	m ³	52,769			
	都市ガス		1,265,828			
電気使用量		kWh	25,396,955			
ディーゼル 機関での 燃料使用量	軽油	ℓ			200	
	灯油				0	
	A重油				8,390	
ガス・ガソリン 機関での 燃料使用量	LPG	m ³		0	0	
	都市ガス			405,150	405,150	
家庭用機器 での燃料 使用量	灯油	ℓ		127,909	127,909	
	LPG	m ³		35,683	35,683	
	都市ガス			6,786	6,786	
ガソリン車 の走行距離	普通・小型乗用車	km		123,280	123,280	
	バス			13,473	13,473	
	軽乗用車			173,941	173,941	
	普通貨物車			7,273	7,273	
	小型貨物車			297,899	297,899	
	軽貨物車			284,090	284,090	
	特殊用途車			66,685	66,685	
ディーゼル車 の走行距離	普通・小型乗用車	km		14,661	14,661	
	バス			170,735	170,735	
	普通貨物車			13,688	13,688	
	小型貨物車			64,570	64,570	
	特殊用途車			97,436	97,436	
廃水処理量	下水処理	m ³		2,666,627	2,666,627	
	し尿処理			0	0	
	単独・合併浄化槽	人		5,593	5,593	
カーエアコンの台数		台				206

2 ガス種別排出源別温室効果ガス排出量

平成28年度における調査対象施設のガス種別排出源別の温室効果ガス排出量を表 6 に示す。

表 6 ガス種別排出源別排出量

項 目		平成28年度 ガス種別・活動項目別排出量（単位：kg-CO ₂ ）				
		CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	総排出量
燃料使用	ガソリン	323,313				323,313
	軽油	238,614				238,614
	灯油	473,317				473,317
	A重油	1,342,317				1,342,317
	LPG	315,033				315,033
	都市ガス	2,898,746				2,898,746
電気使用		17,752,472				17,752,472
ディーゼル 機関	軽油			4		4
	灯油			0		0
	A重油			165		165
ガス・ガソリン 機関	LPG		0	0		0
	都市ガス		25,322	3,501		28,823
家庭用機器	灯油		1,119	800		1,920
	LPG		408	106		514
	都市ガス		36	8		44
ガソリン車 の走行	普通・小型乗用車		31	1,065		1,096
	バス		12	165		176
	軽乗用車		43	1,140		1,184
	普通貨物車		6	85		91
	小型貨物車		112	2,308		2,420
	軽貨物車		78	1,862		1,941
	特殊用途車		58	696		754
ディーゼル車 の走行	普通・小型乗用車		1	31		31
	バス		73	1,272		1,345
	普通貨物車		5	57		62
	小型貨物車		13	173		186
	特殊用途車		32	726		758
廃水処理	下水処理		58,666	127,145		185,811
	し尿処理		0	0		0
	単独・合併浄化槽		82,497	38,334		120,831
カーエアコン					2,946	2,946
温室効果ガス排出量		23,343,812	168,511	179,643	2,946	23,694,912

第3節 施設別温室効果ガス排出状況

課・施設別の温室効果ガス排出構成では、市立宇和島病院の排出量が全体の33.8%を占め、以下、津島やすらぎの里（6.2%）、浄化センター（6.1%）等が続いている。

また、排出量上位10施設での排出源別排出構成では、市立宇和島病院での都市ガス、津島やすらぎの里でのA重油使用に伴う排出が目立つものの、電気使用に伴う排出が大勢を占めている。

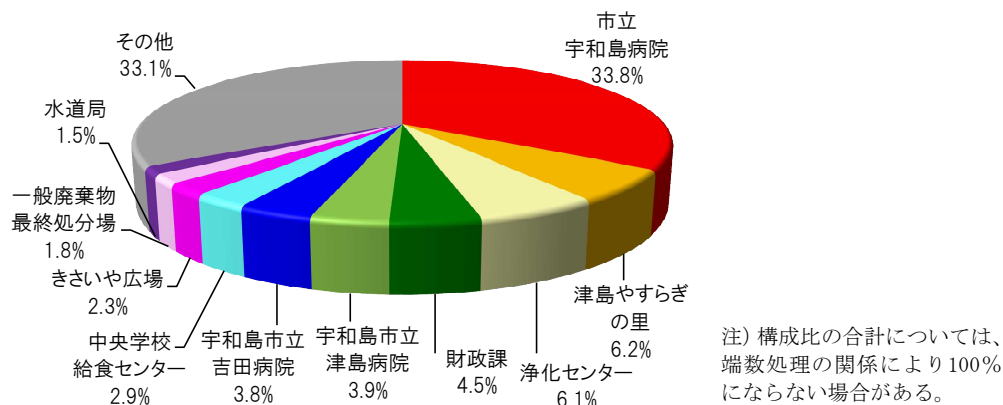


図3 課・施設別の温室効果ガス排出構成

表7 課・施設別の排出源別排出構成（上位10課・施設）

	ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPG	都市ガス	電気	CO2以外	総排出量
市立宇和島病院	4,617	0	0	0	0	2,872,278	5,099,100	29,205	8,005,200
津島やすらぎの里	0	0	0	612,812	82,081	0	782,270	198	1,477,362
浄化センター	0	0	0	10,840	0	747	1,253,924	183,019	1,448,529
財政課	109,540	13,545	0	54	0	1,956	940,149	927	1,066,170
宇和島市立津島病院	5,501	0	0	112,736	35,041	0	762,670	4,453	920,401
宇和島市立吉田病院	2,379	0	881	269,645	21,871	0	603,107	3,750	901,633
中央学校給食センター	1,829	27,040	227,088	0	15,149	0	407,924	2,578	681,609
きさいや広場	1,509	0	0	0	0	0	553,505	49	555,063
一般廃棄物最終処分場	180	10,791	90	0	10	0	426,054	79	437,203
水道局	25,672	1,206	0	0	578	0	321,963	2,223	351,641
その他	172,087	186,032	245,258	336,230	160,303	23,766	6,601,806	124,619	7,850,101
合計	323,313	238,614	473,317	1,342,317	315,033	2,898,746	17,752,472	351,100	23,694,912

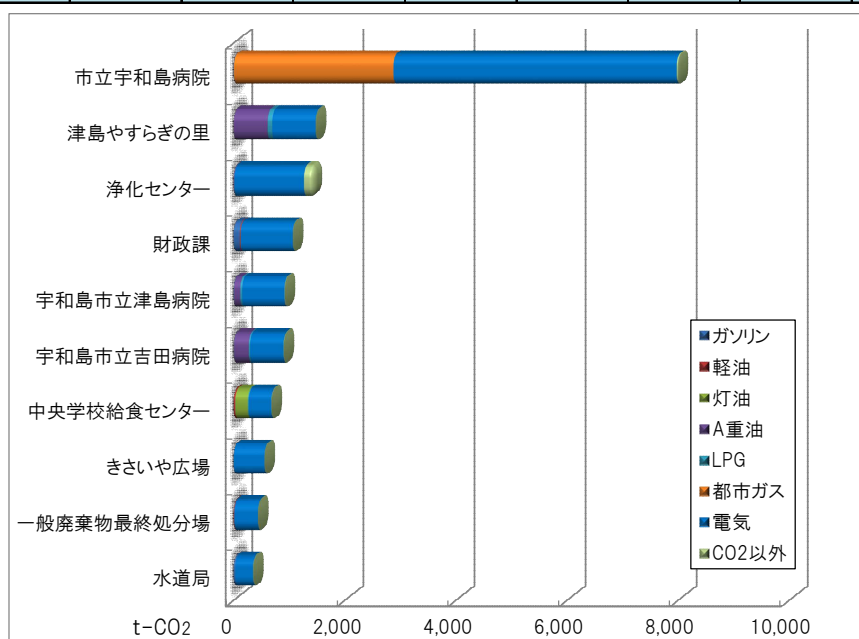


図4 排出量上位10施設の排出源構成

第4節 排出源別温室効果ガス排出状況

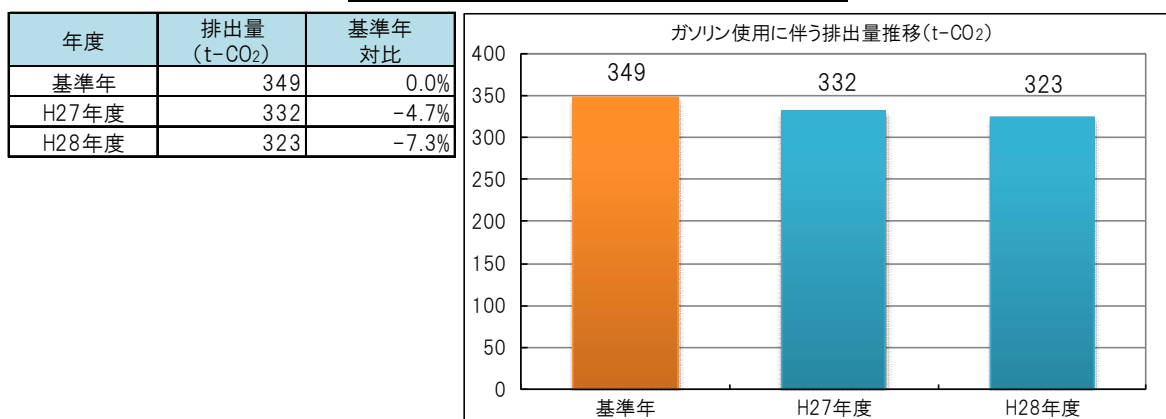
1 ガソリン

平成28年度ガソリン排出量

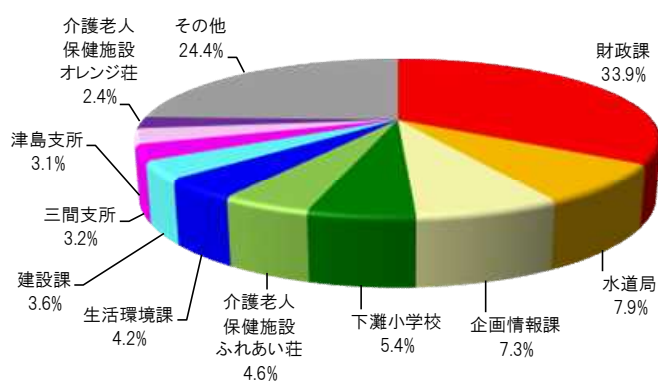
323t-CO₂（基準年比7.3%減少）

- ガソリン使用に伴う排出は全体の1.4%を占める。（4頁 図1 参照）
- ガソリンは主に公用車燃料として使用されることから、使用量は公用車の管理状況、稼働状況に応じて変動する。
- 公用車を管理している財政課での排出が、全体の排出量の33.9%を占めている。

表8 ガソリン使用に伴う排出量推移



ガソリン使用に伴う排出量 上位10課・施設	使用量 ℓ	排出量 kg-CO ₂
財政課	47,215	109,540
水道局	11,065	25,672
企画情報課	10,172	23,598
下灘小学校	7,479	17,351
介護老人保健施設ふれあい荘	6,420	14,893
生活環境課	5,830	13,524
建設課	5,044	11,702
三間支所	4,462	10,351
津島支所	4,362	10,121
介護老人保健施設オレンジ荘	3,314	7,690
その他	33,996	78,871
合計	139,359	323,313



注）構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図5 ガソリン使用に伴う排出上位10課・施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 財政課、水道局、宇和海支所等における公用車の管理状況の変動や公用車使用頻度の減少が、全体のガソリン使用に伴う排出量の減少に影響している。
- 三間支所では、管理車両の稼働状況の変動によりガソリン使用量が増加している。

表 9 ガソリン使用量増加課・施設（上位10課・施設）

ガソリン使用量増加課・施設	基準年対比		
	使用増加量 (L)	排出増加量 (kg-CO ₂)	増加率 (%)
1 三間支所	1,795	4,163	67.3%
2 介護老人保健施設ふれあい荘	1,628	3,776	34.0%
3 津島支所	878	2,038	25.2%
4 生活環境課	721	1,674	14.1%
5 建設課	383	889	8.2%
6 中央図書館	328	760	158.6%
7 国保遊子診療所	313	727	1886.6%
8 国土調査課	244	565	53.2%
9 建築住宅課	217	502	23.7%
10 総務課	179	414	18.9%

表 10 ガソリン使用量減少課・施設（上位10課・施設）

ガソリン使用量減少課・施設	基準年対比		
	使用減少量 (L)	排出減少量 (kg-CO ₂)	減少率 (%)
1 財政課	-2,751	-6,381	-5.5%
2 水道局	-2,628	-6,096	-19.2%
3 宇和海支所	-2,316	-5,374	-87.7%
4 地域包括支援センター	-1,988	-4,613	-78.3%
5 高齢者福祉課	-1,555	-3,608	-97.2%
6 保険健康課	-971	-2,253	—
7 企画情報課	-929	-2,156	-8.4%
8 市立宇和島病院	-725	-1,682	-26.7%
9 下灘小学校	-716	-1,661	-8.7%
10 水産課	-470	-1,090	-14.0%

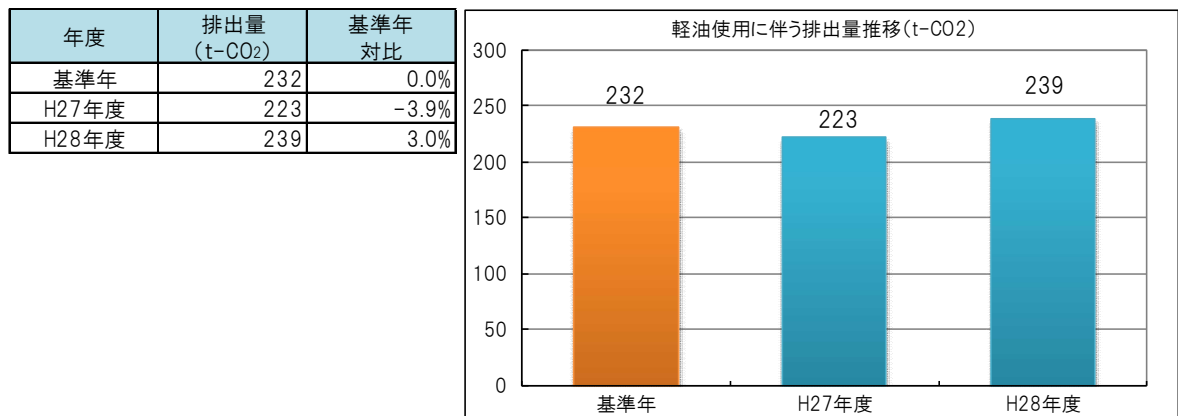
2 軽油

平成28年度軽油排出量

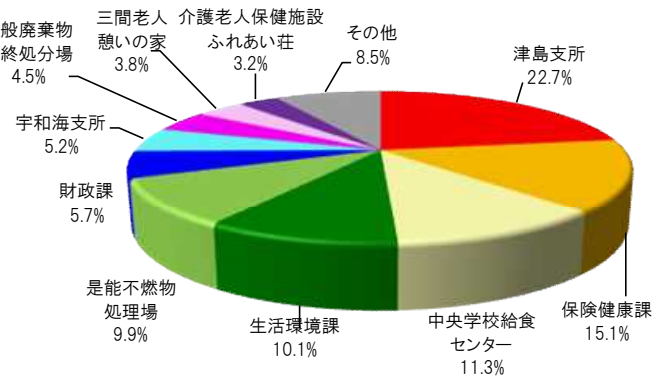
239t-CO₂（基準年比3.0%増加）

- 軽油使用に伴う排出は全体の1.0%を占める。（4頁 図 1 参照）
- 軽油は主に公用車燃料として使用されることから、ガソリンと同様に使用量は公用車の管理状況、稼働状況に応じて変動する。
- マイクロバスを複数台保有、管理している津島支所での排出が、全体の排出量の22.7%を占めている。

表 11 軽油使用に伴う排出量推移



軽油使用に伴う排出量 上位10課・施設	使用量 ℓ	排出量 kg-CO ₂
津島支所	20,959	54,073
保険健康課	13,994	36,105
中央学校給食センター	10,481	27,040
生活環境課	9,381	24,203
是能不燃物処理場	9,111	23,506
財政課	5,250	13,545
宇和海支所	4,800	12,384
一般廃棄物最終処分場	4,183	10,791
三間老人憩いの家	3,544	9,142
介護老人保健施設ふれあい荘	2,967	7,654
その他	7,818	20,171
合計	92,486	238,614



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 6 軽油使用に伴う排出上位 10 課・施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 生活環境課における車両管理台数の増加による軽油使用量の増加が、全体の軽油使用に伴う排出量の増加に影響している。
- 保険健康課では、診療船の稼働状況の変動により軽油使用量が減少している。

表 12 軽油使用量増加課・施設（上位10課・施設）

軽油使用量増加課・施設		基準年対比		
		使用増加量 (L)	排出増加量 (kg-CO ₂)	増加率 (%)
1	生活環境課	2,863	7,386	43.9%
2	一般廃棄物最終処分場	800	2,064	23.6%
3	丸山公園多目的グラウンド	562	1,450	1124.4%
4	財政課	523	1,349	11.1%
5	水道局	467	1,206	—
6	中央学校給食センター	409	1,055	4.1%
7	陸上競技場	302	779	114.4%
8	三間老人憩いの家	252	649	7.6%
9	畦地梅太郎記念美術館	197	508	—
10	日振島小学校	133	343	9.7%

表 13 軽油使用量減少課・施設（上位10課・施設）

軽油使用量減少課・施設		基準年対比		
		使用減少量 (L)	排出減少量 (kg-CO ₂)	減少率 (%)
1	保険健康課	-1,406	-3,627	-9.1%
2	都市整備課管理施設	-548	-1,414	-75.3%
3	介護老人保健施設ふれあい荘	-533	-1,376	-15.2%
4	宇和海支所	-500	-1,290	-9.4%
5	津島支所	-479	-1,237	-2.2%
6	吉田支所	-440	-1,136	-53.9%
7	是能不燃物処理場	-155	-399	-1.7%
8	宇和島市立津島病院	-23	-59	—
9	議会事務局	0	0	0.0%
10	総務課	0	0	0.0%

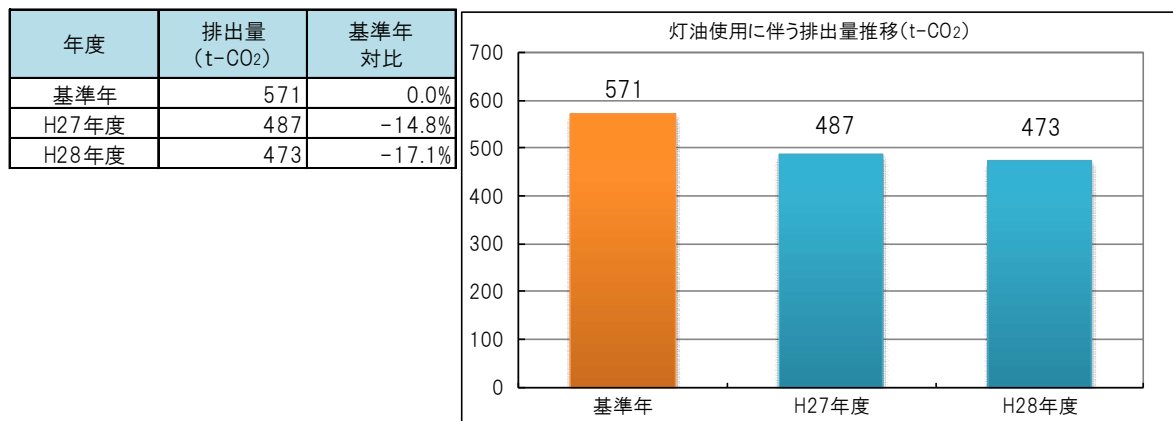
3 灯油

平成28年度灯油排出量

473t-CO₂（基準年比17.1%減少）

- 灯油使用に伴う排出は全体の2.0%を占める。（4頁 図 1 参照）
- 灯油は主に一般的なストーブをはじめとする暖房用燃料、空調用（吸収式エアコン）、ボイラ及びバーナ用燃料として使用される。使用量の増減は、暖房用機器の稼働率の変動による影響が大きい。
- 給食設備・機器（灯油式蒸気ボイラ）を保有する中央学校給食センターでの排出が、全体の排出量の48.0%を占めている。

表 14 灯油使用に伴う排出量推移



灯油使用に伴う排出量 上位10施設	使用量 ℓ	排出量 kg-CO ₂
中央学校給食センター	91,200	227,088
静愁苑	41,000	102,090
祓川温泉	10,748	26,763
吉田斎場	9,800	24,402
吉田老人憩いの家	3,300	8,217
立間公民館	2,600	6,474
番城小学校	1,676	4,173
高光保育園	1,561	3,887
明倫小学校	1,481	3,688
鶴島小学校	1,413	3,518
その他	25,308	63,017
合計	190,087	473,317

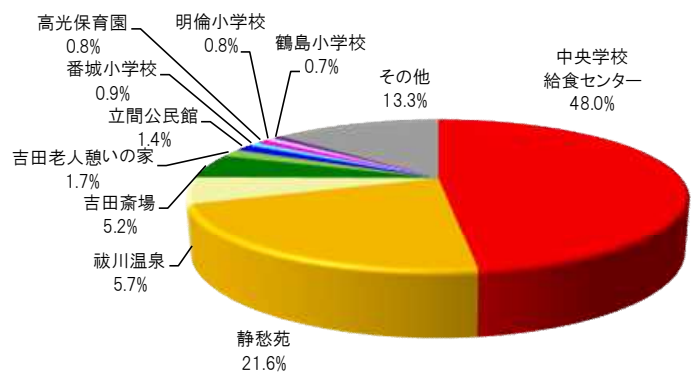


図 7 灯油使用に伴う排出上位 10 施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 祓川温泉におけるボイラの燃料転換（灯油⇒薪）に伴う灯油使用量の減少が、全体の灯油使用に伴う排出量の減少に影響している。
- 中央学校給食センターでは、施設の稼働状況の変化や灯油の購入のタイミング等により灯油使用量が減少している。

表 15 灯油使用量増加課・施設（上位10施設）

灯油使用量増加施設		基準年対比		
		使用増加量 (L)	排出増加量 (kg-CO ₂)	増加率 (%)
1	立間公民館	540	1,345	26.2%
2	番城小学校	461	1,148	37.9%
3	勤労青少年ホーム	324	807	257.1%
4	結出小学校	300	747	150.0%
5	吉田老人憩いの家	300	747	10.0%
6	わかたけ	263	655	142.9%
7	下波公民館	260	647	1444.4%
8	城北中学校	216	538	21.1%
9	清満小学校	208	518	32.0%
10	馬ノ淵温泉(試験場)	200	498	—

表 16 灯油使用量減少課・施設（上位10施設）

軽油使用量減少施設		基準年対比		
		使用減少量 (L)	排出減少量 (kg-CO ₂)	減少率 (%)
1	祓川温泉	-19,870	-49,476	-64.9%
2	中央学校給食センター	-8,800	-21,912	-8.8%
3	津島中学校寄宿舎 白鷺寮	-2,190	-5,453	-89.0%
4	宇和海中学校	-2,170	-5,403	—
5	奥南保育園	-755	-1,880	-86.3%
6	吉田中学校	-722	-1,798	-56.2%
7	喜佐方保育園	-700	-1,743	-85.4%
8	吉田斎場	-600	-1,494	—
9	吉田愛児園	-548	-1,365	—
10	三間小学校	-522	-1,300	-56.9%

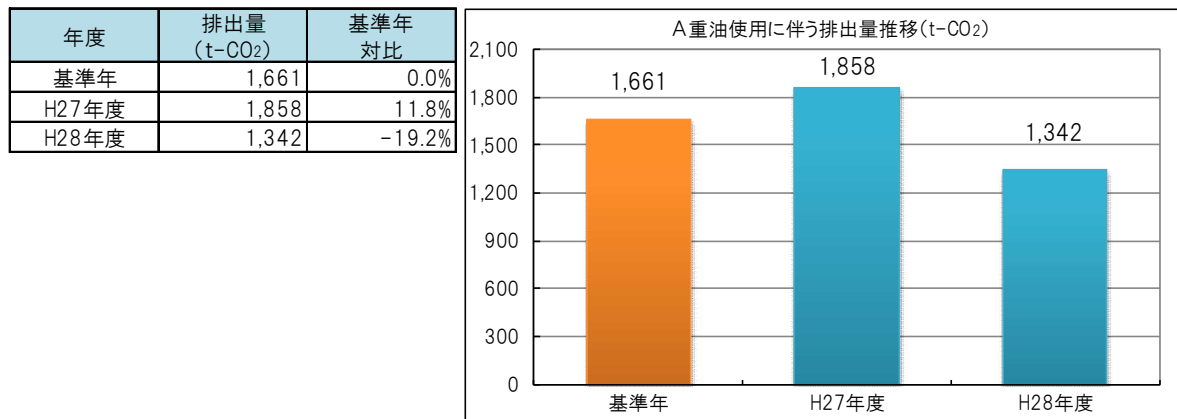
4 A重油

平成28年度A重油排出量

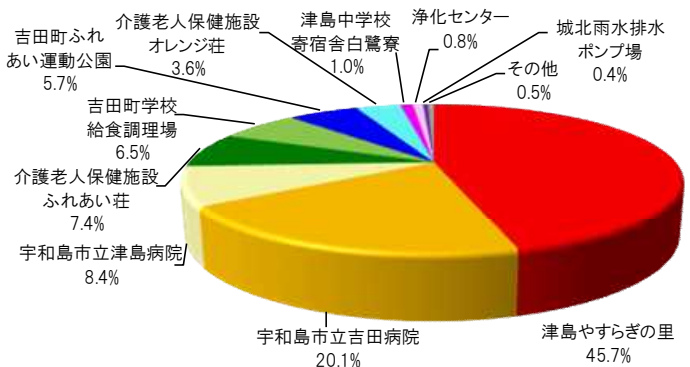
1,342t-CO₂（基準年比19.2%減少）

- A重油使用に伴う排出は全体の5.7%を占める。（4頁 図 1 参照）
- A重油は暖房・給湯ボイラの燃料や焼却施設のバーナ用燃料として使用されることから、使用量は熱需要に応じて変動する。
- 温浴施設として重油式ボイラを保有する津島やすらぎの里での排出が、全体の排出量の45.7%を占めている。

表 17 A重油使用に伴う排出量推移



A重油使用に伴う排出量 上位10施設	使用量 ℓ	排出量 kg-CO ₂
津島やすらぎの里	226,130	612,812
宇和島市立吉田病院	99,500	269,645
宇和島市立津島病院	41,600	112,736
介護老人保健施設ふれあい荘	36,900	99,999
吉田町学校給食調理場	32,000	86,720
吉田町ふれあい運動公園	28,000	75,880
介護老人保健施設オレンジ荘	17,800	48,238
津島中学校寄宿舎 白鷺寮	5,000	13,550
浄化センター	4,000	10,840
城北雨水排水ポンプ場	2,000	5,420
その他	2,390	6,477
合計	495,320	1,342,317



注）構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 8 A重油使用に伴う排出上位10施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 津島やすらぎの里では、施設の稼働状況の変化により、A重油使用量が減少している。また、宇和島市立津島病院では、ボイラを2基→1基にしたことによりA重油使用量が減少している。津島やすらぎの里及び宇和島市立津島病院のA重油使用量の減少が、全体のA重油使用に伴う排出量の減少に影響している。

- 宇和島市立吉田病院では、A重油の購入のタイミング等によりA重油使用量が増加している。

表 18 A重油使用量増加施設

A重油使用量増加施設		基準年対比		
		使用増加量 (L)	排出増加量 (kg-CO ₂)	増加率 (%)
1	宇和島市立吉田病院	5,500	14,905	5.9%
2	浄化センター	2,000	5,420	100.0%
3	吉田排水機場ポンプ施設	1,400	3,794	—
4	城北雨水排水ポンプ場	500	1,355	33.3%
5	大浦雨水排水ポンプ場	300	813	—
6	国永漁港ポンプ場	120	325	21.8%

表 19 A重油使用量減少課・施設（上位10施設）

A重油使用量減少施設		基準年対比		
		使用減少量 (L)	排出減少量 (kg-CO ₂)	減少率 (%)
1	津島やすらぎの里	-66,870	-181,218	-22.8%
2	宇和島市立津島病院	-48,000	-130,080	-53.6%
3	吉田町ふれあい運動公園	-6,000	-16,260	-17.6%
4	玉津保育園	-2,000	-5,420	—
5	たちばな保育園	-1,300	-3,523	—
6	津島中学校寄宿舎 白鷺寮	-1,000	-2,710	-16.7%
7	勤労青少年ホーム	-940	-2,547	—
8	営業推進室	-920	-2,493	—
9	介護老人保健施設ふれあい荘	-400	-1,084	-1.1%
10	財政課	-20	-54	-50.0%

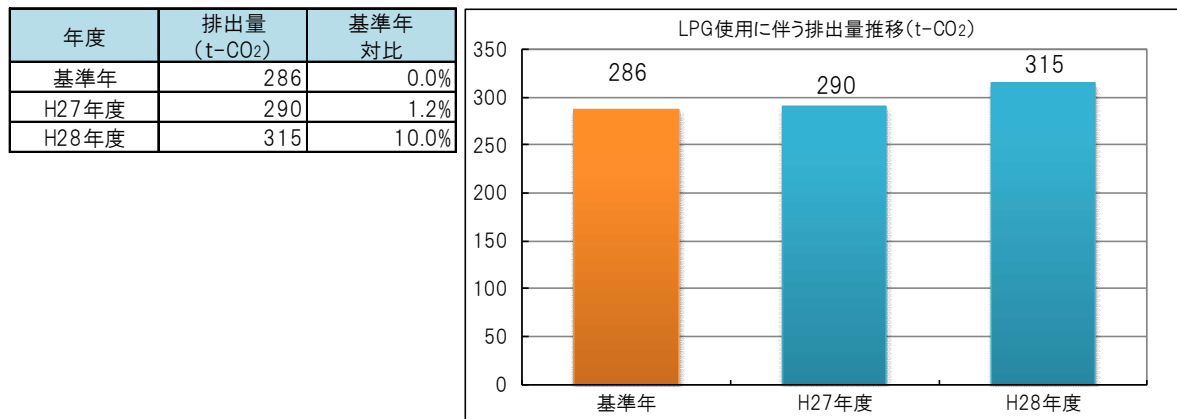
5 LPG

平成28年度LPG排出量

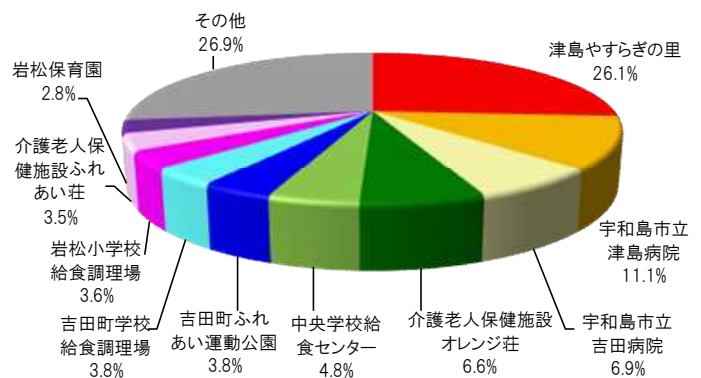
315t-CO₂（基準年比10.0%増加）

- LPG使用に伴う排出は全体の1.3%を占める。（4頁 図 1 参照）
- LPGは主に給湯や調理用燃料として使用されることから、使用量は給湯需要や食事の調理数に応じて変動する。
- 温浴施設として給湯ボイラを保有している津島やすらぎの里での排出が、全体の排出量の26.1%を占めている。

表 20 LPG使用に伴う排出量推移



LPG使用に伴う排出量 上位10施設	使用量 m ³	排出量 kg-CO ₂
津島やすらぎの里	13,749	82,081
宇和島市立津島病院	5,870	35,041
宇和島市立吉田病院	3,664	21,871
介護老人保健施設オレンジ荘	3,463	20,676
中央学校給食センター	2,538	15,149
吉田町ふれあい運動公園	2,030	12,121
吉田町学校給食調理場	2,007	11,983
岩松小学校給食調理場	1,920	11,465
介護老人保健施設ふれあい荘	1,870	11,164
岩松保育園	1,459	8,713
その他	14,199	84,769
合計	52,769	315,033



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 9 LPG 使用に伴う排出上位 10 施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 宇和島市立津島病院におけるボイラ設備の導入（1基新設）に伴うLPG使用量の増加が、全体のLPG使用に伴う排出量の増加に影響している。
- 吉田町ふれあい運動公園では、プールでの暖房（遠赤外線ヒータ）、給湯器での

使用状況の変化によりLPG使用量が増加している。

- 津島やすらぎの里では、施設の稼働状況の変化等によりLPG使用量が減少している。

表 21 LPG使用量増加課・施設（上位10施設）

LPG使用量増加施設		基準年対比		
		使用増加量 (m3)	排出増加量 (kg-CO2)	増加率 (%)
1	宇和島市立津島病院	4,220	25,191	255.7%
2	吉田町ふれあい運動公園	1,082	6,457	114.0%
3	吉田町学校給食調理場	864	5,157	75.5%
4	城南中学校寄宿舎 はまゆう寮	268	1,597	41.1%
5	玉津保育園	212	1,267	63.9%
6	戸島保育所	207	1,235	32.8%
7	北灘小学校給食調理場	117	697	21.1%
8	水道局	97	578	—
9	介護老人保健施設オレンジ荘	95	568	2.8%
10	戸島小学校給食調理場	44	263	24.4%

表 22 LPG使用量減少課・施設（上位10施設）

LPG使用量減少施設		基準年対比		
		使用減少量 (m3)	排出減少量 (kg-CO2)	減少率 (%)
1	津島やすらぎの里	-615	-3,674	-4.3%
2	三間保育園	-465	-2,777	—
3	下灘小学校給食調理場	-324	-1,932	-26.8%
4	津島中学校寄宿舎 白鷺寮	-181	-1,079	-45.7%
5	宇和島市立吉田病院	-135	-807	-3.6%
6	喜佐方保育園	-70	-420	-19.4%
7	介護老人保健施設ふれあい荘	-69	-414	-3.6%
8	大浦保育園	-62	-370	-9.0%
9	甘崎保育園	-56	-337	-13.8%
10	三間老人憩いの家	-49	-290	-11.9%

6 都市ガス

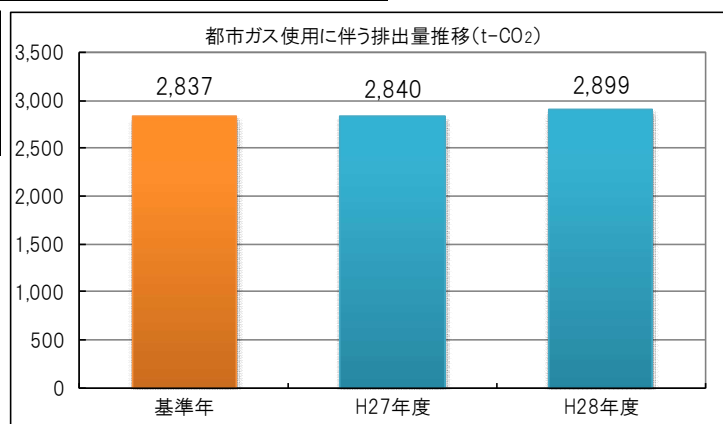
平成28年度都市ガス排出量

2,899t-CO₂（基準年比2.2%増加）

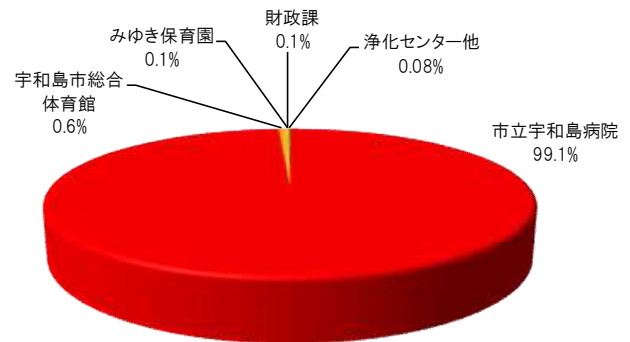
- 都市ガスの使用に伴う排出は全体の12.2%を占める。（4頁 図 1 参照）
- 都市ガスはLPG同様、主に給湯や調理用燃料として使用されるほか、市立宇和島病院ではコージェネレーションシステム用燃料として使用しており、市立宇和島病院での排出が、全体の排出量の99.1%を占めている。

表 23 都市ガス使用に伴う排出量推移

年度	排出量 (t-CO ₂)	基準年 対比
基準年	2,837	0.0%
H27年度	2,840	0.1%
H28年度	2,899	2.2%



都市ガス使用に伴う排出量 施設	使用量 m	排出量 kg-CO ₂
市立宇和島病院	1,254,270	2,872,278
宇和島市総合体育館	8,055	18,446
みゆき保育園	1,690	3,870
財政課	854	1,956
浄化センター他	959	2,196
合計	1,265,828	2,898,746



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 10 都市ガス使用に伴う排出施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 市立宇和島病院における施設の稼働状況の変化等による都市ガス使用量の増加が、全体の都市ガス使用に伴う排出量の増加に影響している。

表 24 都市ガス使用量増加施設

都市ガス使用量増加施設		基準年対比		
		使用増加量 (m3)	排出増加量 (kg-CO2)	増加率 (%)
1	市立宇和島病院	24,491	56,084	2.0%
2	宇和島市総合体育館	2,847	6,520	54.7%
3	みゆき保育園	98	224	6.2%
4	鶴島小学校	20	46	80.0%
5	城南中学校	15	34	8.4%
6	都市整備課管理施設	2	5	0.8%

表 25 都市ガス使用量減少施設

都市ガス使用量減少施設		基準年対比		
		使用減少量 (m3)	排出減少量 (kg-CO2)	減少率 (%)
1	浄化センター	-139	-318	-29.9%
2	財政課	-116	-266	-12.0%
3	宇和津小学校	-39	-89	-60.9%
4	南予文化会館	-27	-62	-55.1%
5	三間基幹集落センター	-7	-15	—
6	鶴島公民館	-5	-11	-4.8%

7 電気

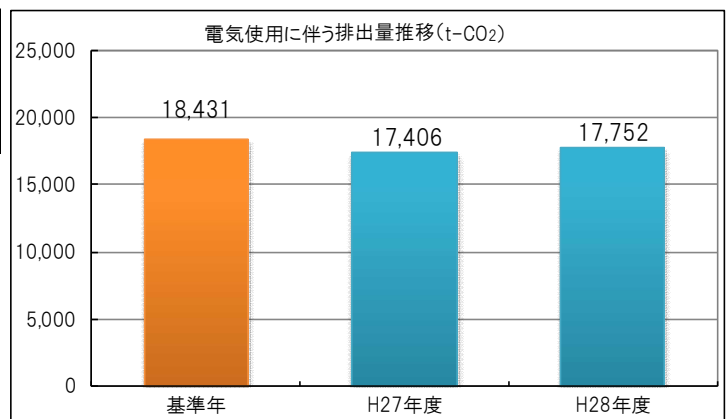
平成28年度電気排出量

17,752t-CO₂（基準年比3.7%減少）

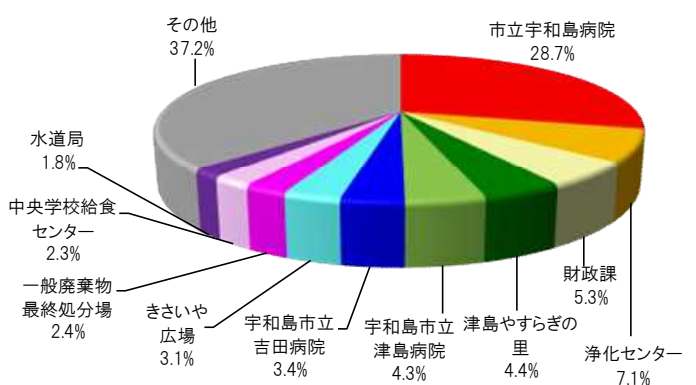
- 電気の使用に伴う排出は全体の74.9%を占める。（4頁 図1 参照）
- 電気は一般的な空調、照明、OA機器で使用されるほか、モータ等の動力用として使用されることから、使用量は動力機器の保有状況や稼働状況、及び施設規模等に依りて変動する。
- 施設規模の大きい市立宇和島病院での排出が、全体の排出量の28.7%を占めている。

表 26 電気使用に伴う排出量推移

年度	排出量 (t-CO ₂)	基準年 対比
基準年	18,431	0.0%
H27年度	17,406	-5.6%
H28年度	17,752	-3.7%



電気使用に伴う排出量 上位10施設	使用量 kWh	排出量 kg-CO ₂
市立宇和島病院	7,294,850	5,099,100
浄化センター	1,793,882	1,253,924
財政課	1,344,991	940,149
津島やすらぎの里	1,119,128	782,270
宇和島市立津島病院	1,091,087	762,670
宇和島市立吉田病院	862,814	603,107
きさいや広場	791,853	553,505
一般廃棄物最終処分場	609,519	426,054
中央学校給食センター	583,582	407,924
水道局	460,605	321,963
その他	9,444,644	6,601,806
合計	25,396,955	17,752,472



注）構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 11 電気使用に伴う排出上位課・施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 宇和海支所では、簡易水道係が津島支所へ移管したこと及び管理施設のポンプ場等の稼働状況の変化により宇和海支所の電気使用量が減少している。また、水道局では、管理施設である浄水場等での稼働状況の変化等により電気使用量が減少

している。宇和海支所及び水道局の電気使用量の減少が、全体の電気使用に伴う排出量の減少に影響している。

- 津島支所では、簡易水道系の移管に伴う管理施設の電気使用量の計上により、電気使用量が増加している。

表 27 電気使用量増加課・施設（上位10施設）

電気使用量増加施設		基準年対比		
		使用増加量 (kWh)	排出増加量 (kg-CO ₂)	増加率 (%)
1	津島支所	135,220	94,518	70.6%
2	大川井堰跡地用水ポンプ施設	99,695	69,687	—
3	宇和島市立吉田病院	68,638	47,978	8.6%
4	市立宇和島病院	41,775	29,201	0.6%
5	伊達博物館	41,259	28,840	14.4%
6	きさいや広場	40,242	28,129	5.4%
7	静愁苑	27,047	18,906	20.0%
8	三間中学校	18,900	13,211	37.4%
9	高岡穴神ポンプ施設	18,361	12,834	—
10	宇和島市総合体育館	17,130	11,974	5.2%

表 28 電気使用量減少課・施設（上位10施設）

電気使用量減少施設		基準年対比		
		使用減少量 (kWh)	排出減少量 (kg-CO ₂)	減少率 (%)
1	宇和海支所	-341,248	-238,532	-96.1%
2	水道局	-338,660	-236,723	-42.4%
3	岩松公民館	-191,474	-133,840	—
4	コスモス館(道の駅)	-155,624	-108,781	-32.1%
5	吉田支所	-82,690	-57,800	-34.2%
6	宇和島市冷蔵所	-72,646	-50,780	—
7	浄化センター	-71,356	-49,878	-3.8%
8	津島中学校	-62,521	-43,702	-36.3%
9	津島やすらぎの里	-58,939	-41,198	-5.0%
10	宇和島市立津島病院	-42,852	-29,954	-3.8%

8 CO2以外のガス（CH4、N2O、HFC）

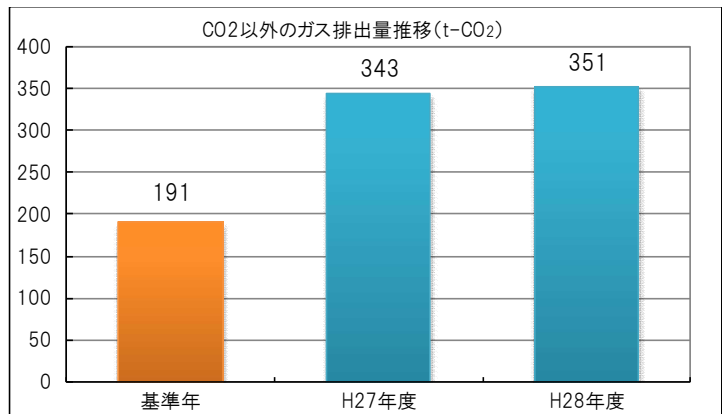
平成28年度CO2以外のガス排出量

351t-CO2（基準年比83.5%増加）

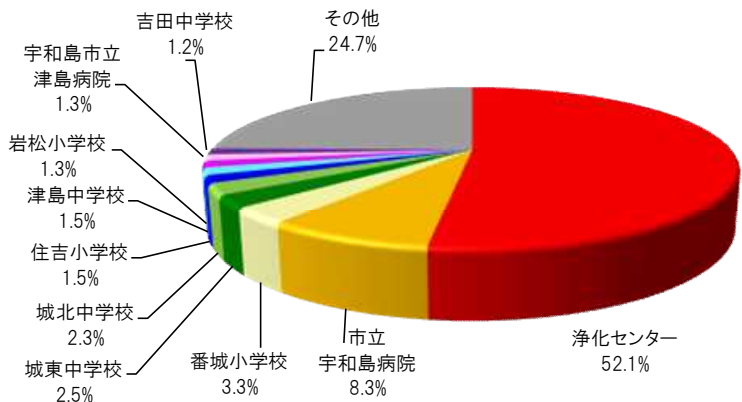
- CO2以外の温室効果ガス排出は全体の1.5%を占める。（4頁 図 1 参照）
- CO2以外の温室効果ガスは、一般廃棄物の焼却、浄化槽、下水・し尿処理、家庭用機器（ストーブ、給湯器、コンロ等）の使用、公用車の運行等に伴い排出される。
- 浄化センターでの排出が、全体の排出量の52.1%を占めている。

表 29 CO2以外のガス使用に伴う排出量推移

年度	排出量 (t-CO2)	基準年 対比
基準年	191	0.0%
H27年度	343	79.5%
H28年度	351	83.5%



CO2以外のガス排出量 上位10施設	排出量 kg-CO2
浄化センター	183,019
市立宇和島病院	29,205
番城小学校	11,475
城東中学校	8,696
城北中学校	7,926
住吉小学校	5,354
津島中学校	5,338
岩松小学校	4,565
宇和島市立津島病院	4,453
吉田中学校	4,265
その他	86,804
合計	351,100



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 12 CO2 以外のガス排出上位課・施設

【基準年比増減量及び増減要因】

- 浄化センターでは、施設の稼働状況の変化に伴う下水処理量の増加により、メタン、一酸化二窒素の排出量が増加しており、全体のCO2以外のガス排出量の増加に影響している。

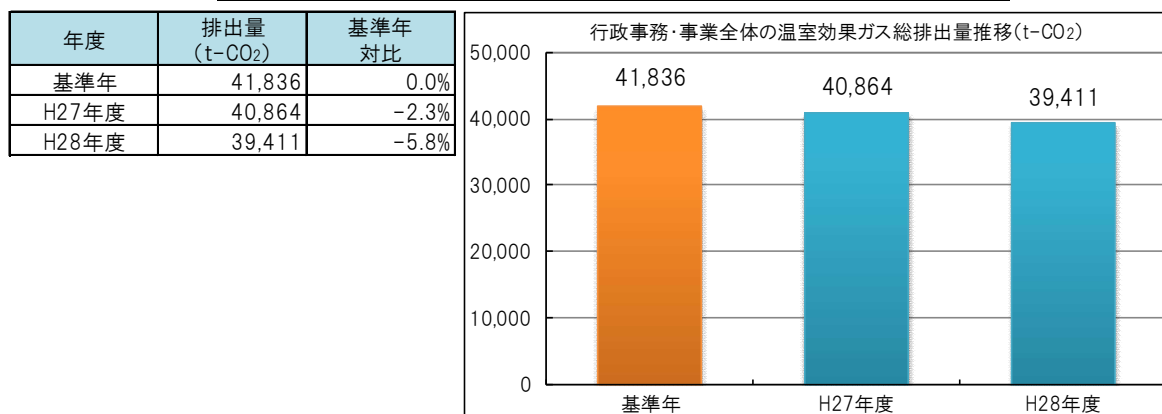
第5節 行政事務・事業より排出された全体の総排出量

宇和島市行政事務・事業（目標設定施設と目標設定外施設の総和）における平成28年度の温室効果ガス排出量は、39,411t-CO₂であり、基準年（平成26年度）の排出量（41,836t-CO₂）に対して2,425t-CO₂（-5.8%）減少している。

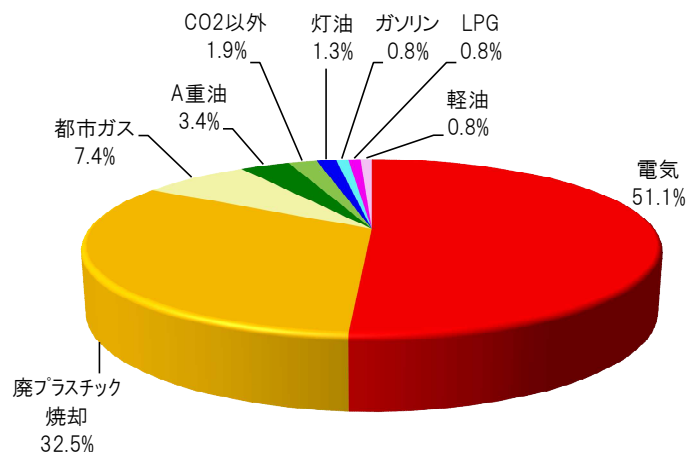
平成28年度全体の総排出量

39,411t-CO₂（基準年比5.8%減少）

表 30 平成28年度（全体）の活動量・温室効果ガス排出量



排出構成では、電気使用に伴う排出が全体の51.1%を占め、以下、廃プラスチック焼却（32.5%）、都市ガス（7.4%）、A重油（3.4%）、CO₂以外のガス（1.9%）、灯油（1.3%）、ガソリン（0.8%）、LPG（0.8%）、軽油（0.8%）と続いている。（図 13参照）



注）構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

図 13 行政事務・事業全体の温室効果ガス排出構成

排出源別の基準年比増減状況を見ると、LPG、都市ガス、CO₂以外のガスに伴う排出は増加したものの、それ以外の項目における排出は減少している。

表 31 排出源別温室効果ガス排出量推移

(t-CO₂)

項目		平成26年度 (基準年)	平成27年度		平成28年度		
		排出量	排出量	基準年 対比	排出量	前年度 対比	基準年 対比
燃 料	ガソリン	354	337	-4.9%	328	-2.8%	-7.5%
	軽油	302	288	-4.6%	302	4.8%	-0.0%
	灯油	620	538	-13.2%	519	-3.5%	-16.2%
	A重油	1,661	1,858	11.8%	1,342	-27.7%	-19.2%
	LPG	291	295	1.2%	327	10.9%	12.2%
	都市ガス	2,837	2,840	0.1%	2,899	2.1%	2.2%
電気		20,810	19,738	-5.2%	20,120	1.9%	-3.3%
廃プラスチック焼却		14,363	14,215	-1.0%	12,806	-9.9%	-10.8%
CO ₂ 以外の温室効果ガス		599	755	26.1%	767	1.5%	28.1%
温室効果ガス全体		41,836	40,864	-2.3%	39,411	-3.6%	-5.8%

第6節 施設別排出量増減状況

1 排出量が増加した施設

平成28年度の温室効果ガス排出量は、浄化センターをはじめとする150課・施設において基準年比で合計約824t-CO₂増加している。

基準年に対して、平成28年度の温室効果ガス排出量が増加した課・施設のうち、増加量の多い3施設（浄化センター、津島支所、市立宇和島病院）について、排出源別に基準年比の増減状況を以下に示す。

表 32 排出量が増加した課・施設

(単位:kg-CO₂)

課・施設		平成26年度 (基準年)	平成28年度	対基準年 増加量
1	浄化センター	1,310,509	1,448,529	138,020
2	津島支所	201,504	295,425	93,921
3	市立宇和島病院	7,921,164	8,005,200	84,036
4	宇和島市立吉田病院	840,225	901,633	61,408
5	伊達博物館	201,176	229,827	28,651
6	きさいや広場	527,067	555,063	27,996
7	静愁苑	196,638	215,583	18,945
8	宇和島市総合体育館	241,381	259,874	18,493
9	三間中学校	40,900	54,547	13,648
10	介護老人保健施設ふれあい荘	330,588	341,122	10,534
	その他	3,112,468	3,440,947	328,478
合 計		14,923,619	15,747,751	824,131

※上記、排出量増加施設には、基準年以降新設された施設は対象外としている。

【浄化センター】

■ 増加

- A重油 : 基準年比100.0%増加 (5,420kg-CO₂増加)

■ 減少

- 都市ガス : 基準年比29.9%減少 (318kg-CO₂減少)
- 電気 : 基準年比3.8%減少 (49,878kg-CO₂減少)

基準年に対する排出量増加の主要因は、施設の稼働状況の変化に伴う下水処理量の増加により、メタン、一酸化二窒素の排出量が増加したことが挙げられる。

【津島支所】

■ 増加

- ガソリン : 基準年比25.2%増加 (2,038kg-CO₂増加)
- 電気 : 基準年比70.6%増加 (94,518kg-CO₂増加)

■ 減少

- 軽油 : 基準年比2.2%減少 (1,237kg-CO₂減少)
- 灯油 : 基準年比100.0%減少 (1,076kg-CO₂減少)
- L P G : 基準年比86.7%減少 (8kg-CO₂減少)

基準年に対する排出量増加の主要因は、簡易水道系の移管に伴う管理施設の電気使用量の計上により、電気使用量が増加したことが挙げられる。

【市立宇和島病院】

■ 減少

- ガソリン : 基準年比26.7%減少 (1,682kg-CO₂減少)

■ 増加

- 都市ガス : 基準年比2.0%増加 (56,084kg-CO₂減少)
- 電気 : 基準年比0.6%増加 (29,201kg-CO₂減少)

基準年に対する排出量増加の主要因は、施設の稼働状況の変化等により、都市ガス使用量が増加したことが挙げられる。

2 排出量が減少した施設

平成28年度の温室効果ガス排出量は、宇和海支所をはじめとする139課・施設において基準年比で合計約1,687t-CO₂減少している。

基準年に対して、平成28年度の温室効果ガス排出量が減少した課・施設のうち、減少量が多い3施設（宇和海支所・水道局・津島やすらぎの里）について、排出源別に基準年比の増減状況を以下に示す。

表 33 排出量が減少した課・施設

(単位:kg-CO₂)

課・施設	平成26年度 (基準年)	平成28年度	対基準年 減少量
1 宇和海支所	268,730	23,109	-245,621
2 水道局	592,989	351,641	-241,347
3 津島やすらぎの里	1,704,001	1,477,362	-226,639
4 宇和島市立津島病院	1,055,526	920,401	-135,126
5 岩松公民館	134,078	80	-133,997
6 コスモス館(道の駅)	339,287	230,463	-108,824
7 吉田支所	179,914	121,028	-58,886
8 祓川温泉	93,120	46,445	-46,675
9 津島中学校	128,000	82,932	-45,068
10 財政課	1,104,346	1,066,170	-38,176
その他	4,033,974	3,627,530	-406,444
合 計	9,633,964	7,947,162	-1,686,802

※上記、排出量減少施設には、基準年以降統合・廃止された施設は対象外としている。

【宇和海支所】

■ 減少

- ガソリン : 基準年比87.7%減少 (5,374kg-CO₂減少)
- 軽油 : 基準年比9.4%減少 (1,290kg-CO₂減少)
- L P G : 基準年比61.1%減少 (41kg-CO₂減少)
- 電気 : 基準年比96.1%減少 (238,532kg-CO₂減少)

基準年に対する排出量減少の主要因は、平成28年度から簡易水道係が宇和海支所から津島支所に移ったことにより、電気使用量が減少したことが挙げられる。

【水道局】

■ 増加

- 軽油 : 平成27年度から使用量計上 (1,206kg-CO₂増加)
- L P G : 平成27年度から使用量計上 (578kg-CO₂増加)

■ 減少

- ガソリン : 基準年比19.2%減少 (6,096kg-CO₂減少)
- 電気 : 基準年比42.4%減少 (236,723kg-CO₂減少)

基準年に対する排出量減少の主要因は、管理施設である浄水場等での稼働状況の変化等により、電気使用量が減少したことが挙げられる。

【津島やすらぎの里】

■ 減少

- A 重油 : 基準年比22.8%減少（181,218kg-CO₂減少）
- L P G : 基準年比4.3%減少（3,674kg-CO₂減少）
- 電気 : 基準年比5.0%減少（41,198kg-CO₂減少）

基準年に対する排出量減少の主要因は、施設の稼働状況の変化、A重油購入のタイミング等により、A重油使用量が減少したことが挙げられる。

第7節 間接的項目に関わる活動量（参考）

温室効果ガス排出量に直接関わることのない間接的項目（水道使用量及び用紙使用量）の使用量推移を以下に示す。

（1）水道使用量

平成28年度水道使用量	463千 m^3 （基準年比28.4%増加）
-------------	---------------------------------

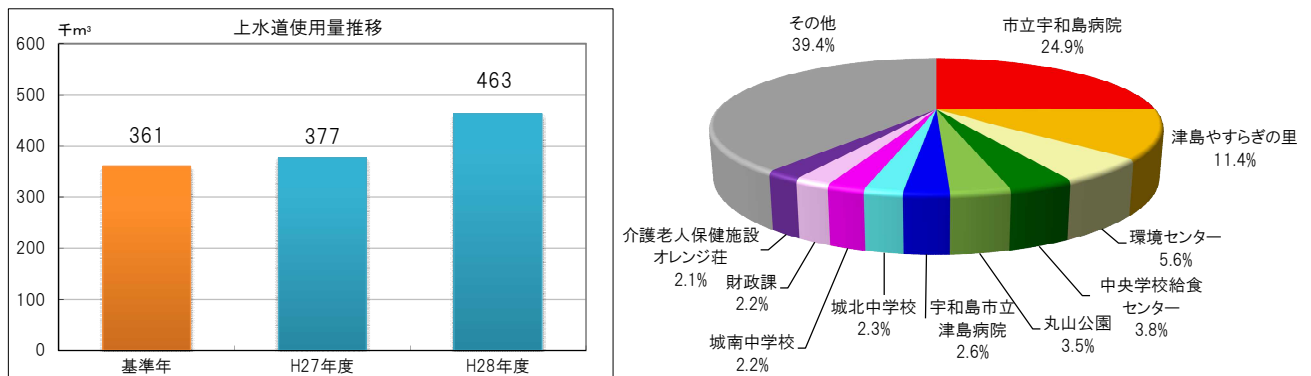


図 14 平成28年度水道使用状況

（2）用紙使用量（購入量）

平成28年度用紙使用量	23,466千枚（基準年比4.4%減少）
-------------	----------------------

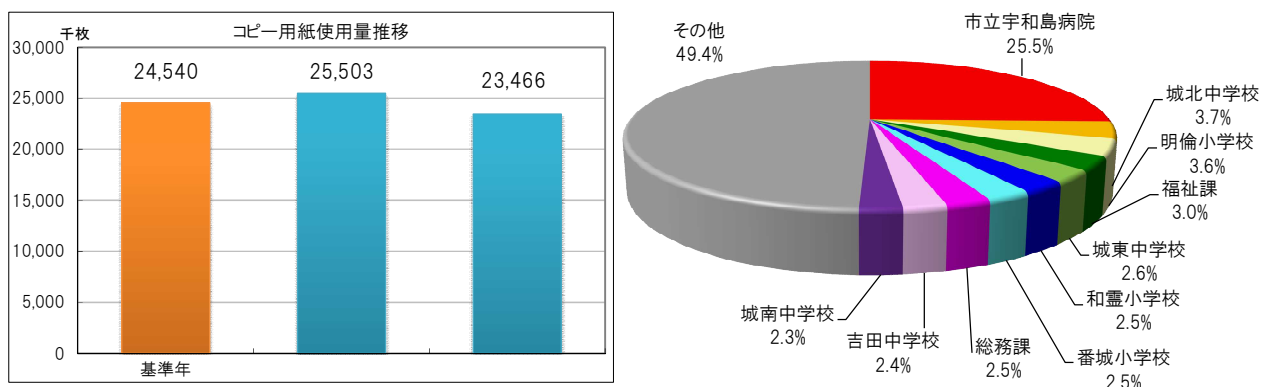


図 15 平成28年度用紙使用状況

第8節 温室効果ガス総排出量（実排出量）（参考）

本計画の「第2章 温室効果ガス排出状況 第1節～第6節」に示す温室効果ガス排出量は、市職員の取り組みをより評価しやすくするため、基準年（平成26年度）の排出係数（資料編 表13 ～ 表16 参照）を用いて算定するものである。ただし、電気のCO₂排出係数は電気事業者によって毎年度変動するため、以下に示す温室効果ガス排出量（実排出量）は、電気事業者のCO₂排出係数の変動を踏まえた温室効果ガス排出量である。

※ 実排出量算定は下表に示す電気事業者のCO₂排出係数を用いて算定する。

	四国電力事業者 CO ₂ 排出係数
基準年（平成26年度）	0.699kg-CO ₂ /kWh
平成28年度	0.651kg-CO ₂ /kWh

1 目標設定施設における実排出量

平成28年度における目標設定施設（調査対象全施設より目標設定外施設を除いた施設）より排出された温室効果ガス排出量（実排出量）は、22,476t-CO₂であり、基準排出量（24,558t-CO₂）に対して2,082t-CO₂（8.5%）減少している。

平成28年度の実排出量	22,476t-CO ₂ （基準年比8.5%減少）
-------------	--------------------------------------

2 行政事務・事業における実排出量

宇和島市行政事務・事業（目標設定施設と目標設定外施設の総和）における平成28年度の温室効果ガス排出量（実排出量）は、38,029t-CO₂であり、基準年（平成26年度）の排出量（41,836t-CO₂）に対して3,807t-CO₂（9.1%）減少している。

平成28年度の実排出量	38,029t-CO ₂ （基準年比9.1%減少）
-------------	--------------------------------------

第3章 計画の目標達成状況

第1節 目標達成状況

平成28年度における目標設定施設（調査対象全施設より目標設定外施設を除いた施設）より排出された温室効果ガス排出量は、23,695t-CO₂であり、基準排出量（24,558t-CO₂）に対して863t-CO₂（3.5%）減少し、現状では計画の削減目標（-10.0%）まで残り6.5ポイントとなった。

平成28年度温室効果ガス総排出量

23,695t-CO₂（基準年比3.5%減少）

第2節 今後の方針

平成28年度における本市の目標設定施設における温室効果ガス排出量は、基準年に対して3.5%減少し、現状では削減目標（-10.0%）まで残り6.5ポイントとなった。

本市の排出構成として、電気使用に伴う排出が全体の74.9%を占めることから、電気使用量の削減は本市の温室効果ガス排出量の削減には欠かせない要素であり、今後の方針としては以下の事が挙げられる。

■ 事務系施設の取り組み

- 庁舎等の事務系施設では、エネルギー使用量のうち空調（冷暖房）の占める割合が大きいことから、空調（冷暖房）温度の適正な管理やその他の節電の取り組み等を継続的に行う。
- 施設の運用改善やOA機器・照明について、職員一人ひとりの取り組みを継続的に実施し、定着化させていく。
- 定期的なメンテナンスによる設備・機器の性能の維持を図る。
- より高効率な設備・機器への更新によるエネルギー化を図る。

■ 事業系施設の取り組み

- 定期的なメンテナンスによる設備・機器の性能の維持を図る。
- より高効率な設備・機器への更新によるエネルギー化を図る。

■ 市民・事業者への取り組み

- ごみ減量への取り組みについては、使用量の減少や再利用・再資源化を啓発して

いく。

- 市民が利用する施設では、利用者に協力を求め、市民との協働による取り組みを行っていく。